

日本企業で活躍する
JET OB・OG

JETプログラムを終えたその後

MCI-JCS Japan 株式会社 プロジェクトマネージャー マデリン・ホーン

JETプログラムの国際交流員として勤めていたころは、福井県越前町の住民と在住外国人の相互関係強化のため、多種多様なイベントを行っていました。人口約2万5,000人の越前町では、イベントの規模は比較的に小さかったですが、熱心に参加する住民の皆さんの姿が思い出に残っています。そのころから、イベント開催の基本を学び、また、経験を積むことができ、来日3年目となる2011年の夏には「JETプログラム来日直後オリエンテーション」で、新規国際交流員向けの「イベント企画と実施」研修も行いました。

その時は、自分が4年後に日本の大手PCO（プロフェッショナル・コンGRESS・オーガナイザー）でイベント運営をしているとは思ってもみませんでした。結果として、JETプログラムでの学びや経験は、大いに日本企業で役立っています。

JETプログラムを終えてから3年間は、「一般財団法人自治体国際化協会」で勤務し、来日直後オリエンテーション、終了前研修、キャリアフェアなどのイベントを担当させていただきました。その後、2015年9月に「MCI-JCS Japan 株式会社」に就職しました。入社してからこの1年間で200人規模のコーポレートイベントから、5,000人規模の国際会議まで、さまざまなイベントを担当してきました。海外主催で日本国内社内研修の講師を務めている様子



開催の「インバウンド」も、日本主催で海外開催の「アウトバウンド」のどちらも担当しています。イベントの予算管理から、会場押さえ、宿泊手配、参加登録、スポンサーセールス、プロモーション、展示会の施工、輸入・輸出サポート等々、プロジェクトマネージャーとしての業務内容は多岐にわたります。

JETプログラムの経験がなかったら、今日、どのような人生を送っていたか分からないほど、JETプログラムが私の人生を切り開いてくれました。

日本のグローバル化が進む中、JET参加者が持ち得るスキルが日々必要とされていると感じています。今後の日本企業でのOB・OGの活躍を心より期待しています。

プロフィール



オーストラリア出身のマデリン・ホーンです。メルボルン大学で日本語と心理学を専攻し、卒業後2009年7月～2012年7月の間、JETプログラムの国際交流員として福井県越前町役場で勤務。その後、3年間、「一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）」で、プログラムコーディネーターとして勤務し、2015年9月より「MCI-JCS Japan 株式会社」でプロジェクトマネージャーの仕事をしています。

人事担当者から一言

日本コンベンションサービス株式会社 HRマネジメント本部 人事部 向井 崇

マデリンさんには2015年の9月より、世界最大手のPCO（プロフェッショナル・コンGRESS・オーガナイザー）である「MCI-JCS Japan 株式会社（MCIグループと当社JCSとの合併会社）」にて勤務してい



人事担当者との打ち合わせの様子

ただいております。JETプログラム経験者の採用と当社への就業は、マデリンさんが初めてでしたので、当初、われわれも不安に思うこともありましたが、JETプログラムでの経験と持ち前の明るさ、フットワークの良さで、今では貴重な戦力となり、MCI-JCS Japanには欠かせない存在となっております。引き続き、マデリンさんには大きな期待をしております。

JETプログラムは、当社の事業でそのまま生かせる内容も多く、実際にマデリンさんにご就業いただいたことで、今回そのメリットを確認することができました。この入社がきっかけとなり、当社でもより多くのJET経験者の方にご勤務いただければとても嬉しいです。

もし当社の業務内容にご興味があればぜひご連絡ください！人事部一同、心よりお待ち申し上げております。